

乗務員によるポイント不転換の初期対応の試行拡大について **説明を受ける!**

目的

ポイント不転換発生時は、駅社員や設備社員等が駆け付けて対応しているが、発生場所によっては運転再開まで時間を要している。昨年より、横手運輸区で乗務員によるポイント不転換の初期対応の試行を行っているが、今年度より対象線区を拡大し、早期運転再開につなげ輸送障害を最小限に抑えることにより、お客さまサービス向上につなげていくことを目的に、全運輸区で実施する。

- 1.対応線区 秋田支社管内全線区(三線軌、発条転てつ器及び歩行危険箇所を除く)
- 2.対象者 秋田支社全運輸区乗務員
- 3.対応方法 輸送指令において、現地までの距離や移動範囲内の支障物、天候状況等を確認したうえで乗務員に対して初期対応の指示を行う。
- 4.対応開始日 2021年12月1日
- 5.教育について 乗務員によるポイント不転換の初期対応にあたり、必要な教育を行う。
- 6.車両搭載道具 スクレーパー、ほうき、防刃手袋、靴カバー等
- 7.その他 試行後の状況を踏まえ、本実施に向けた検討を行う。

主な議論内容

- ・昨年、横手運輸区で試行したが対応した実績はない。輸送指令とのやり取りで対应用具を準備するところまでは実際にあつたが自然復旧した。
- ・本実施の判断をする前に、実績や対応後の声を掴んでいくため「試行拡大」とした。
- ・対応する場合の条件については昨年と変えていない。
- ※三線軌分岐器および発条転てつ器のある駅以外の駅で停止位置からポイントまでの距離が約300m以内の箇所および安全に配慮し途中に橋梁等がない場所で対応。
- ・秋田支社管内全線区のため津軽線では対応しない。
- ・搭載道具は秋田支社所属車両へ搭載するため、E653系には搭載しない。
- ・今後、横手運輸区を含む全運輸区で教育を進めていく。
- ・全運輸区の指導担当には再度教育を行った上で、現場での教育に当たってもらう。
- ・各線区における危険箇所等の資料は、支社から現場に送るが乗務員に周知するかについては現場の判断とする。

安全に働ける環境を自分たちの手で創り出そう!